

2014年度決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 安藤 孝夫

<http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
コード番号:4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2015年5月18日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社 広報部

TEL 075-541-4312

FAX 075-551-2557

E-mail pr-group@sanyo-chemical.com

会社概要

創 立:1949(昭和24)年11月1日

本 社:京都市東山区

資 本 金:13,051百万円

国内営業所:東京、大阪、名古屋、広島、福岡、富山

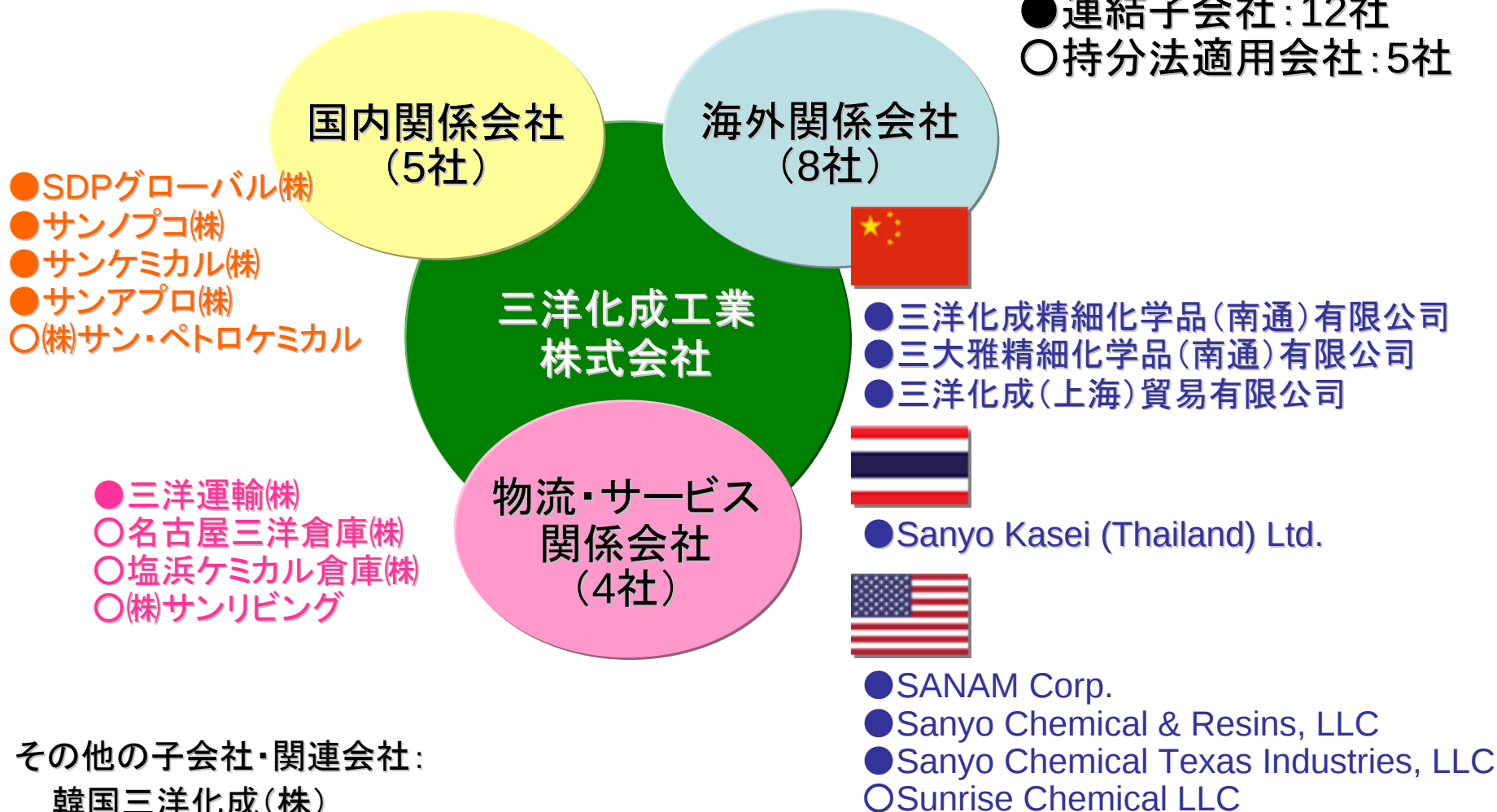
国内工場:名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎(サンケミカル)

従業員数:1,979名(連結)[2015年3月31日現在]

事業内容:約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス
(機能化学品)の製造・販売

三洋化成グループ

●連結子会社:12社
○持分法適用会社:5社



その他の子会社・関連会社:

韓国三洋化成(株)
台湾三洋化成股份有限公司
SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.
SAN NOPCO (KOREA) LIMITED
DAXIANG INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) Co., Ltd.

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)

海外生産拠点



三洋化成精細化学品(南通)有限公司



三大雅精細化学品(南通)有限公司



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC



Sanyo Chemical & Resins, LLC

海外営業拠点



三洋化成(上海)貿易有限公司



SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.



DaXiang International Trading (SHANGHAI) Co., Ltd.



韓国三洋化成株式会社



SAN NOPCO (KOREA) LIMITED



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



台灣三洋化成股份有限公司

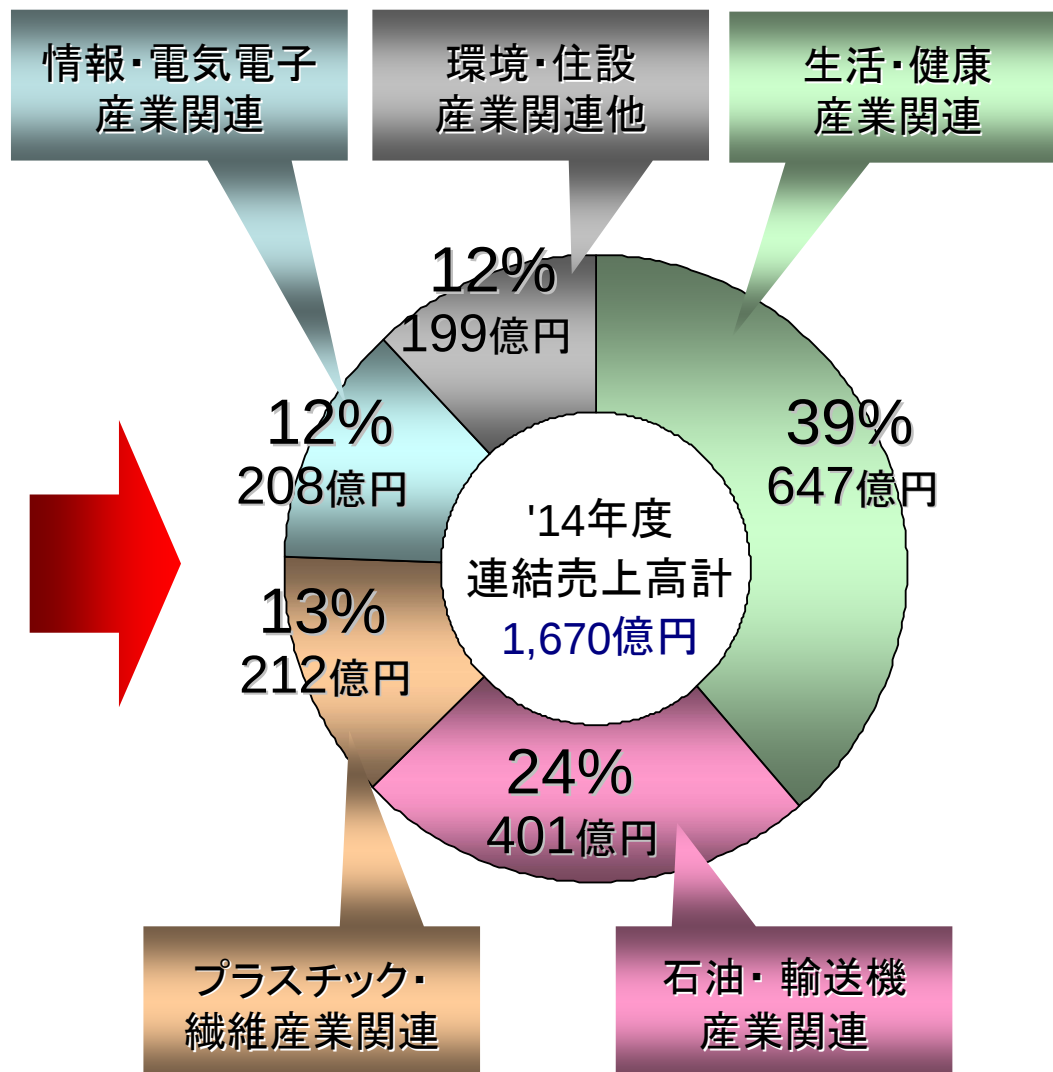
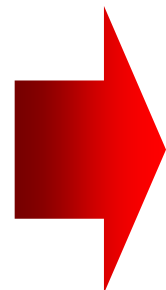
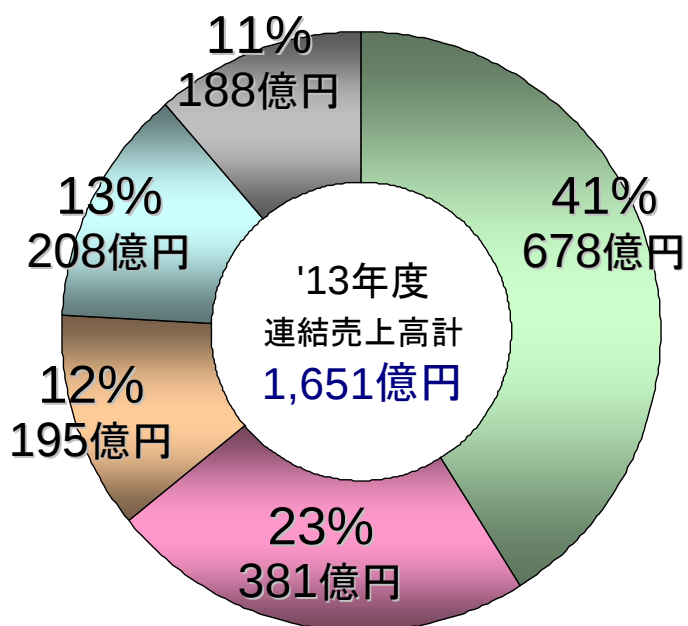


SANAM Corp.

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂(SAP)、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用原料(PPG)、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック・繊維 産業関連	プラスチック産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、ポリウレタンエラストマー原料、塗料用樹脂、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ(PEB)、トナーバインダー
	電気電子産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電気二重層キャパシタ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤

連結産業分野別売上高構成



'14年度業績

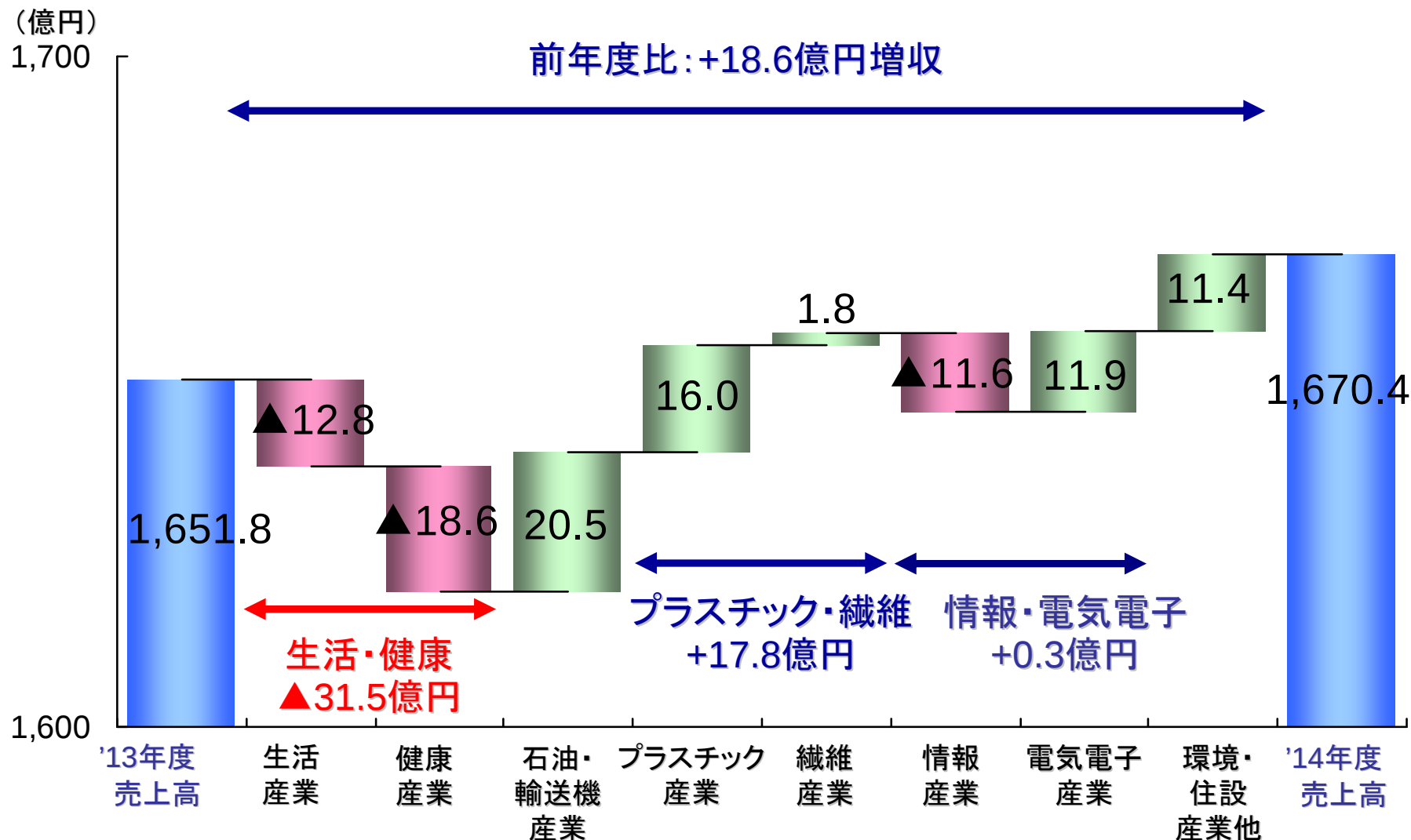
(億円)

連 結	'13年度	'14年度	前年度比	
			増減額	増減率(%)
売上高	1,651.8	1670.4	18.6	1
営業利益	81.1	89.4	8.3	10
経常利益	92.1	102.7	10.6	12
純利益	49.1	58.7	9.5	19
包括利益	110.7	153.4	42.6	39

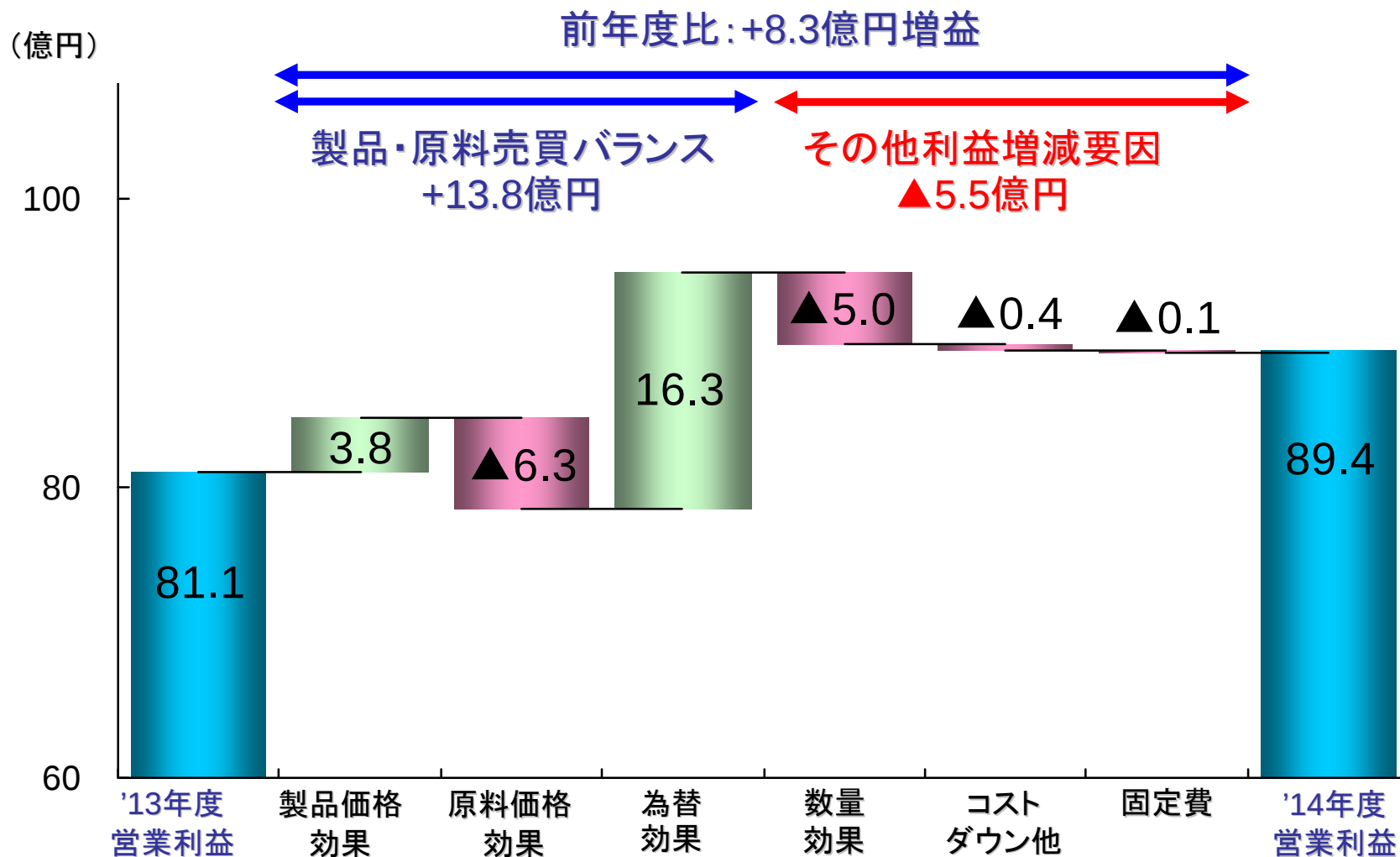
(億円)

単 体	'13年度	'14年度	前年度比	
			増減額	増減率(%)
売上高	1,021.4	1,056.0	34.6	3
営業利益	32.1	38.2	6.1	19
経常利益	53.6	59.6	6.0	11
純利益	▲2.6	43.6	46.2	—

連結売上高の産業分野別前年度比増減



連結営業利益の前年度比増減要因



連結純利益の前年度比増減要因

(億円)

	'13年度	'14年度	増減額
営業利益	81.1	89.4	8.3
持分法投資損益	0.1	4.9	4.7
為替差損益	6.4	7.7	1.3
その他営業外損益	4.4	0.6	▲3.7
経常利益	92.1	102.7	10.6
固定資産除却・売却による損益	▲6.8	▲6.0	0.8
減損損失	▲3.7	—	3.7
その他特別損益	0.2	▲1.2	▲1.4
税金等調整前純利益	81.7	95.5	13.7
法人税等	▲24.9	▲27.8	▲2.8
少数株主利益控除	▲7.6	▲8.8	▲1.2
当期純利益	49.1	58.7	9.5

連結貸借対照表

(億円)

	2014年 3月31日	2015年 3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	812	845	32	現金及び預金(5)、 受取手形及び売掛金(21)、たな卸資産(2)
固定資産	852	965	112	有形固定資産(26)、投資有価証券(83)
資産合計	1,665	1,810	144	
流動負債	538	522	▲16	支払手形及び買掛金(▲21)、短期借入金(39)、 一年内返済予定長期借入金(▲49)
固定負債	87	110	23	長期借入金(7)、退職給付に係る負債(▲14)、 繰延税金負債(31)
負債合計	626	633	7	
株主資本	899	945	45	当期純利益(58)、配当金支払(▲16)
その他 包括利益	92	173	80	その他有価証券評価差額金(55)、 為替換算調整勘定(20)
少数株主持分	47	58	11	
純資産合計	1,039	1,176	137	
負債・純資産合計	1,665	1,810	144	

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'13年度	'14年度	増減額	主な増減要因
営業活動CF	157	115	▲42	
税金等調整前純利益	81	95	13	
減価償却費	96	96	▲0	
減損損失	3	—	▲3	
持分法投資損益	▲0	▲4	▲4	
運転資金の増減	0	▲40	▲40	
法人税等	▲21	▲26	▲4	
その他	▲2	▲5	▲2	
投資活動CF	▲86	▲86	0	
フリーCF	71	28	▲42	
財務活動CF	▲25	▲29	▲3	(14年度) 借入・返済(▲9)、配当金の支払額(▲16)
現金及び現金同等物に 係る換算差額	7	6	▲1	
現金及び現金同等物の 増減額	53	5	▲47	
現金及び現金同等物の 期首残高	101	154	53	
現金及び現金同等物 期末残高	154	160	5	

主要経営指標

	単位	'13年度	'14年度	前年度比
総資産	億円	1,665	1,810	+144
総資産当期純利益率	%	3.1	3.4	+0.3pt
総資産営業利益率	%	5.0	5.1	+0.1pt
自己資本	億円	991	1,118	+126
自己資本比率	%	59.5	61.8	+2.3pt
自己資本当期純利益率	%	5.2	5.6	+0.4pt
有利子負債	億円	187	184	▲3
負債資本倍率(D/Eレシオ)	倍	0.19	0.16	▲0.03pt

'15年度業績予想

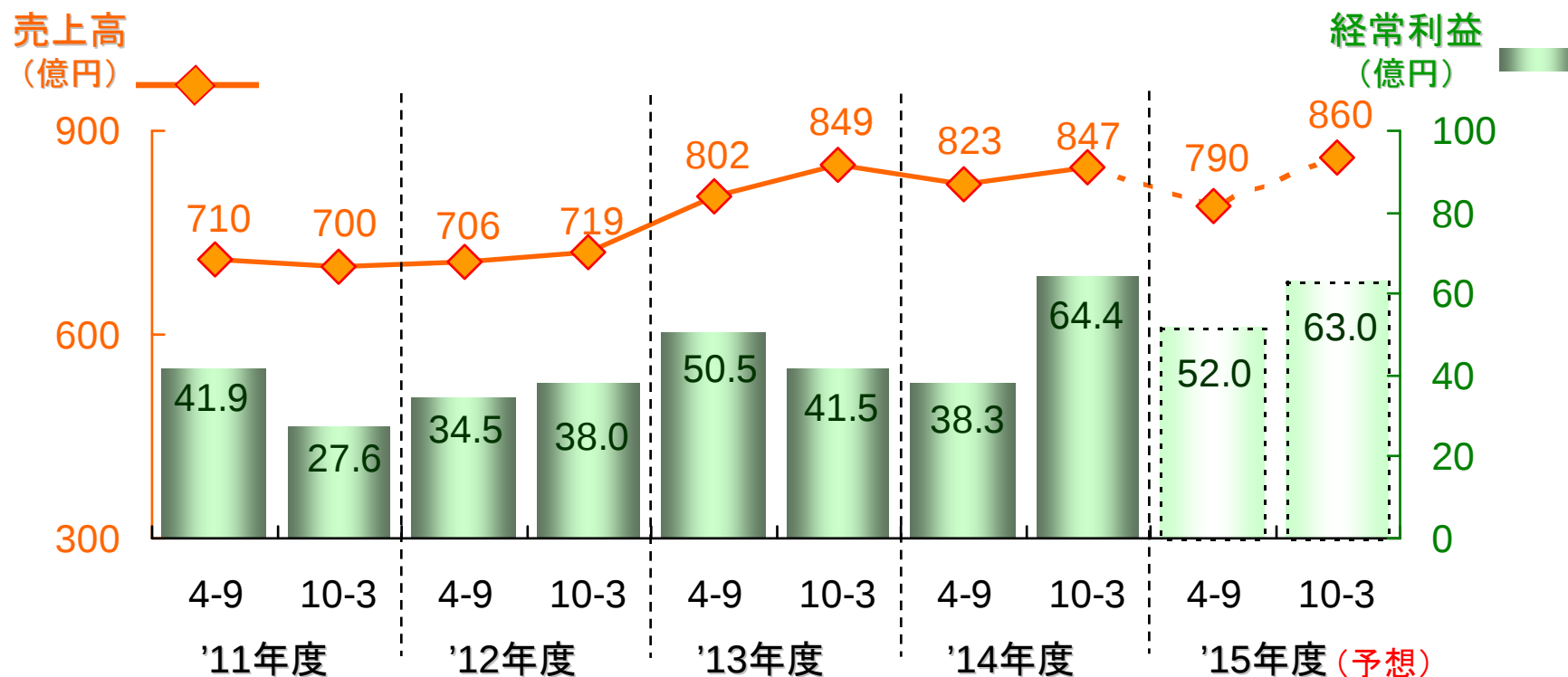
(億円)

連結	通 期			第2四半期(4-9月期)		
	'15年度 予想値	'14年度 実績	増減率(%)	'15年度 予想値	'14年度 実績	増減率(%)
売上高	1,650.0	1,670.4	▲1	790.0	823.1	▲4
営業利益	110.0	89.4	23	50.0	34.0	47
経常利益	115.0	102.7	12	52.0	38.3	36
親会社株主に帰属 する当期純利益	70.0	58.7	19	30.0	22.7	32

単 体	通 期			第2四半期(4-9月期)		
	'15年度 予想値	'14年度 実績	増減率(%)	'15年度 予想値	'14年度 実績	増減率(%)
売上高	1,000.0	1056.0	▲5	485.0	515.8	▲6
営業利益	50.0	38.2	31	23.0	13.0	76
経常利益	70.0	59.6	17	33.0	23.8	38
当期純利益	52.0	43.6	19	25.0	17.3	44

<業績予想の前提条件> 国産ナフサ価格:50千円/kl、為替レート:118円/ドル

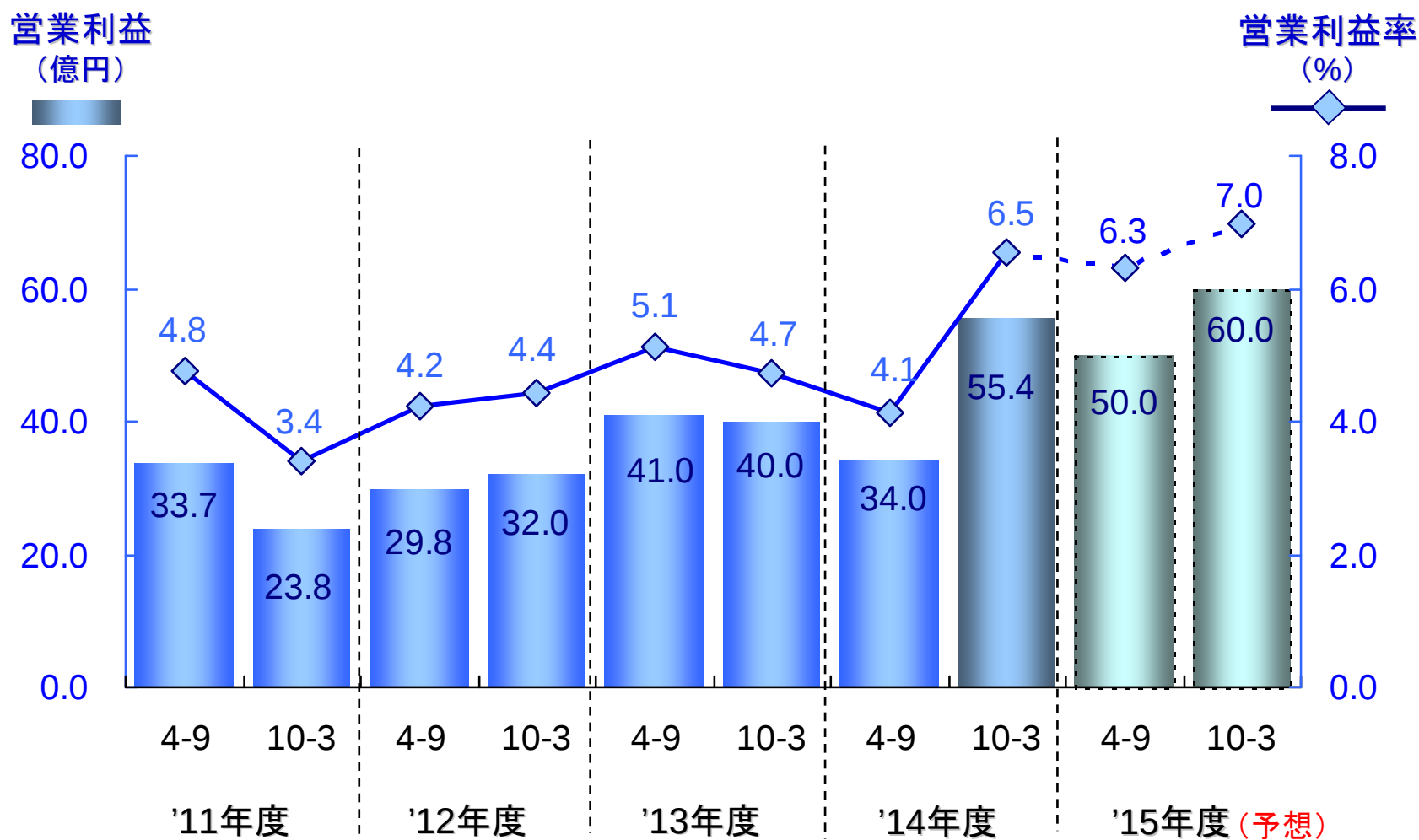
連結業績の推移



'14年度業績の主な増減要因(前年度比)

- ・売上高は、ポリウレタンフォーム用原料(PPG)などの自動車関連製品の拡販が進んだことなどにより増収
- ・経常利益は、原料価格が下落に転じたことなどにより増益

連結営業利益(同率)の推移

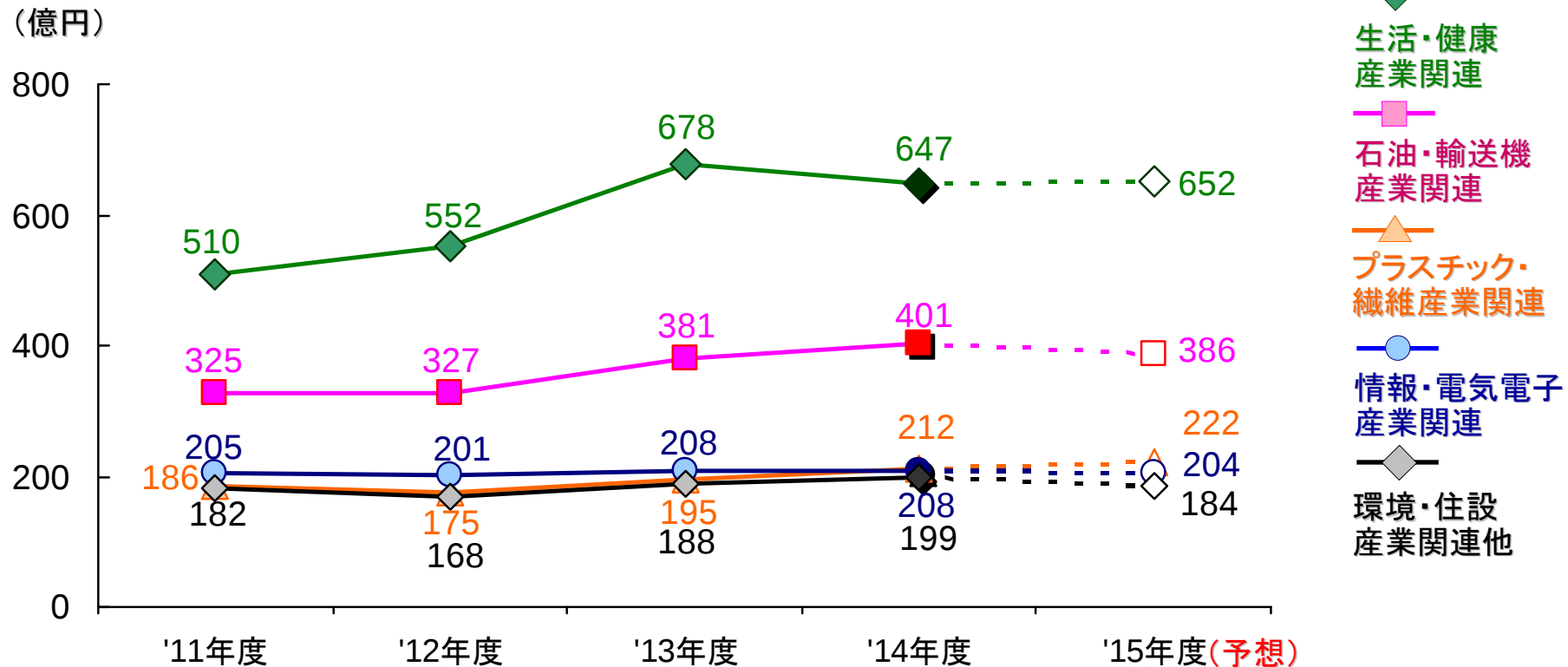


'14年度産業分野別業績

(億円)

産業分野	売上高			営業利益		
	'13年度	'14年度	増減額	'13年度	'14年度	増減額
生活・健康産業関連	678.7	647.2	▲31.5	38.7	36.2	▲2.4
生活産業関連	142.4	129.5	▲12.8			
健康産業関連	536.2	517.6	▲18.6			
石油・輸送機産業関連	381.1	401.6	20.5	13.6	11.4	▲2.2
プラスチック・繊維産業関連	195.0	212.8	17.8	24.1	23.7	▲0.3
プラスチック産業関連	122.1	138.1	16.0			
繊維産業関連	72.8	74.7	1.8			
情報・電気電子産業関連	208.4	208.7	0.3	5.8	12.6	6.8
情報産業関連	155.3	143.6	▲11.6			
電気電子産業関連	53.0	65.0	11.9			
環境・住設産業関連他	188.5	199.9	11.4	▲1.2	5.3	6.5
合計	1,651.8	1,670.4	18.6	81.1	89.4	8.3

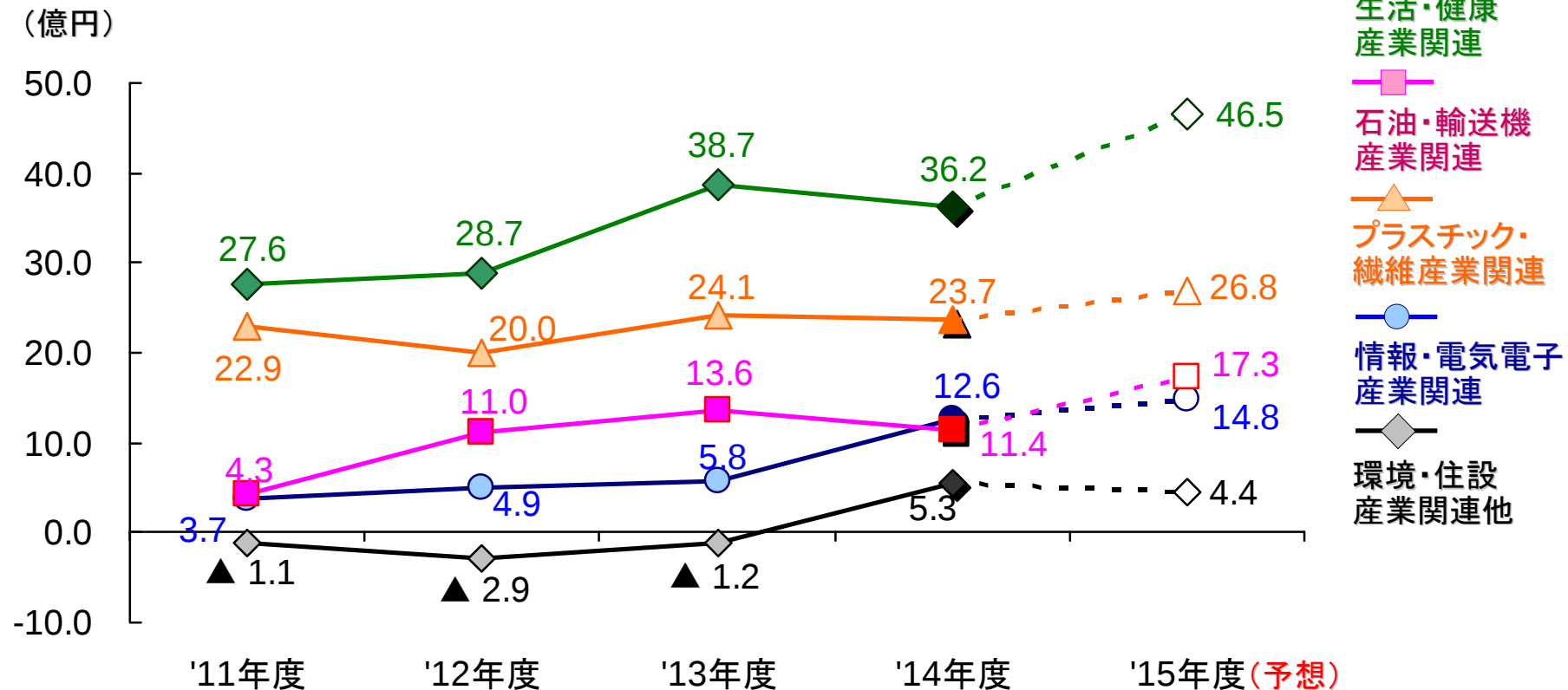
連結産業分野別売上高の推移



'14年度業績の主な増減要因(前年度比)

生活・健康産業	: 液体洗剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤が売上低調 SAPはSG-SAPの拡販進むも、一部価格競争激化により売上低調
石油・輸送機産業	: PPGの海外における大幅拡販、潤滑油添加剤の米国新設備の稼働が寄与し増収
プラスチック・繊維産業	: 塗料・コーティング用薬剤、永久帯電防止剤が好調に推移し増収
情報・電気電子産業	: 情報産業関連製品は低調なものの、アルミ電解コンデンサ用電解液の需要復調、FPD用樹脂、電子材料用粘着剤が好調のため微増収
環境・住設産業他	: 高分子凝集剤が低調なものの、建築用シーラント、家具・断熱材用原料(PPG)などが好調に推移し増収

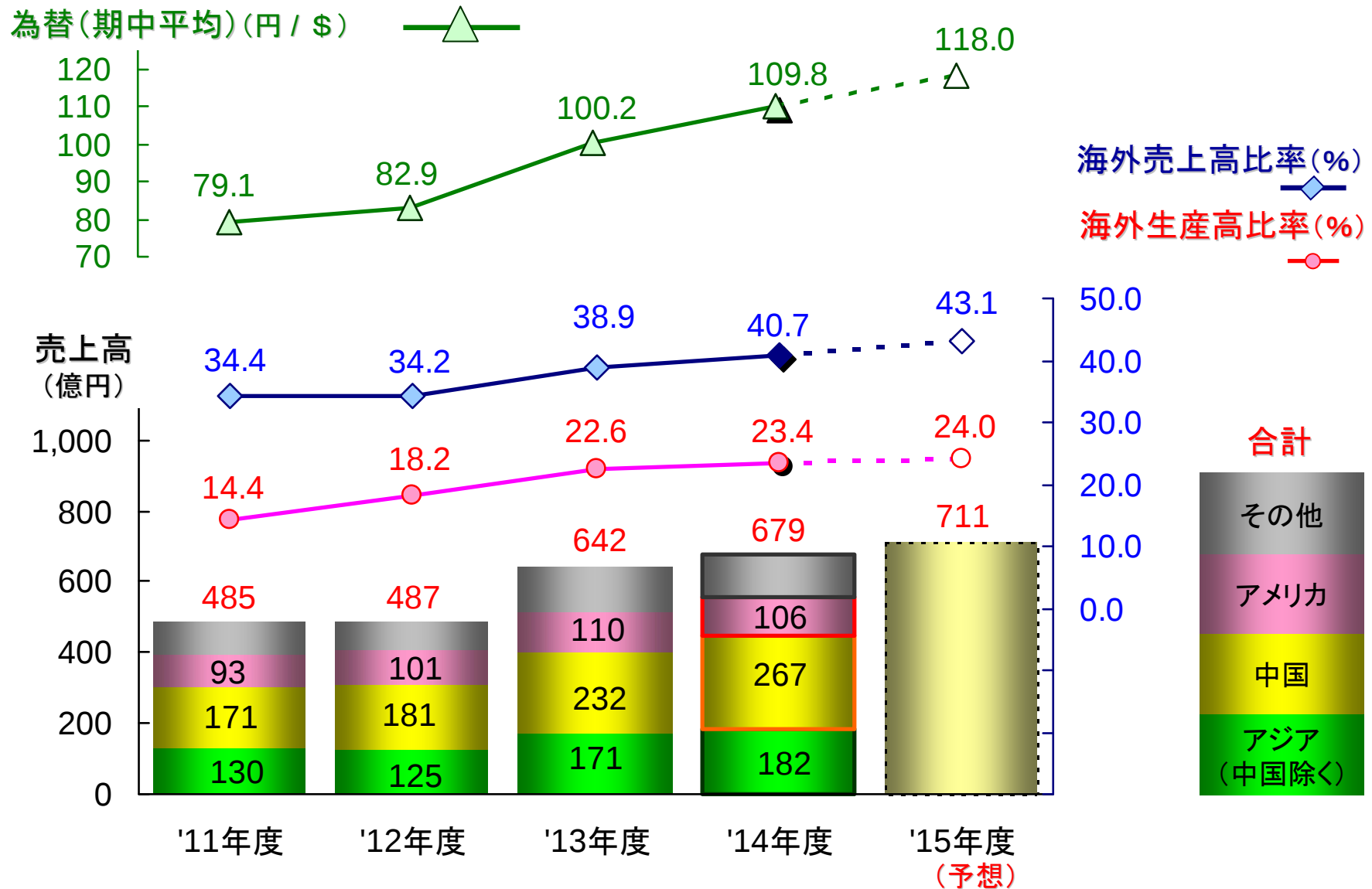
連結産業分野別営業利益の推移



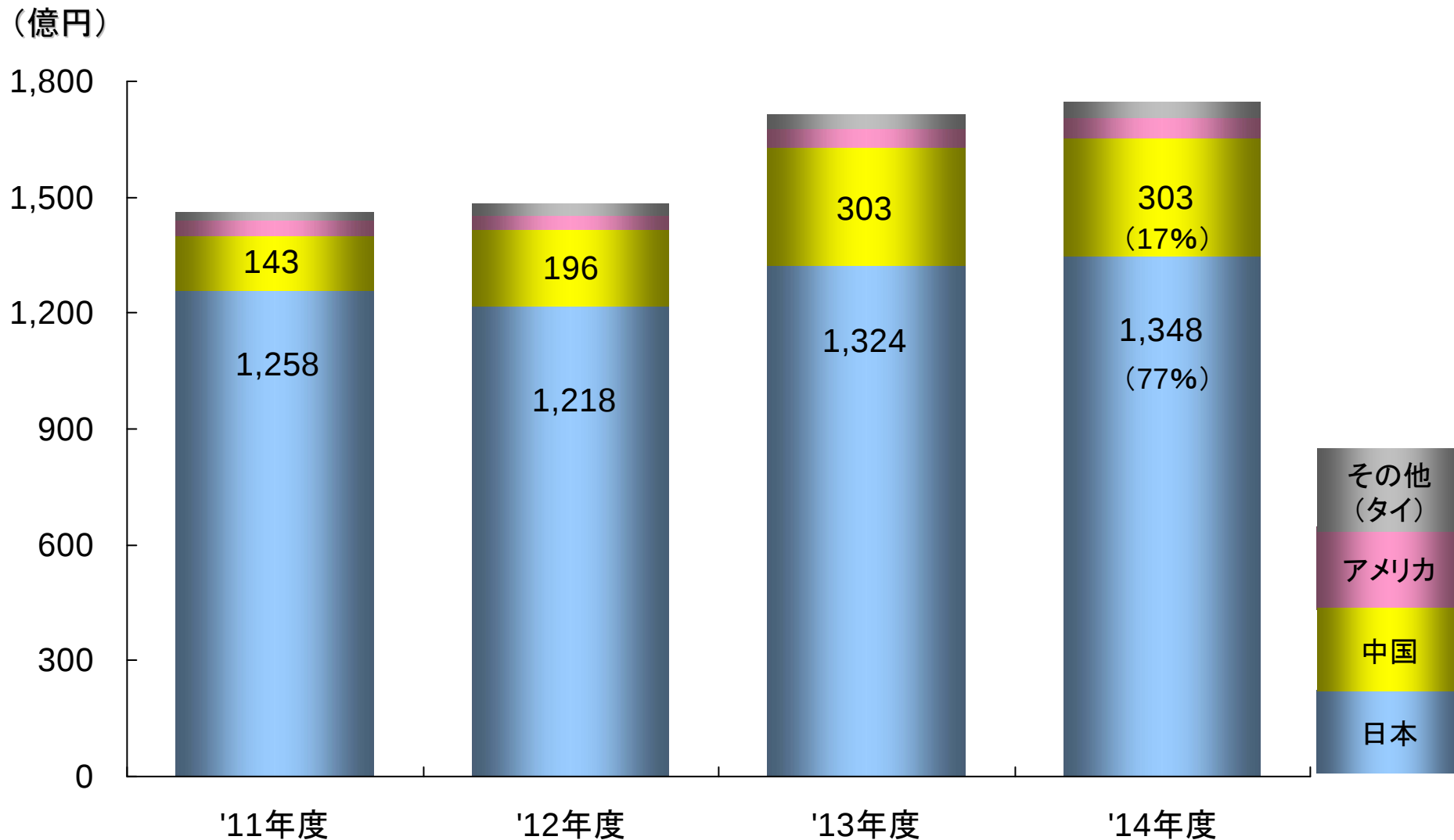
'14年度業績の主な増減要因(前年度比)

生活・健康産業	: 液体洗剤用界面活性剤の売上低調、ヘアケア製品用界面活性剤の競争激化により減益 SAPはSG-SAPを拡販するも一部競争激化により微増益
石油・輸送機産業	: 増収も、当連結会計年度を通しては原料価格の上昇等により減益
プラスチック・繊維産業	: 永久帯電防止剤等の拡販は進むも、商品構成の悪化もあり減益
情報・電気電子産業	: アルミ電解コンデンサ用電解液等の復調など、商品構成の良化により増益
環境・住設産業他	: 建築用シーラント、家具断熱材用原料(PPG)などが好調に推移し増益、黒字化

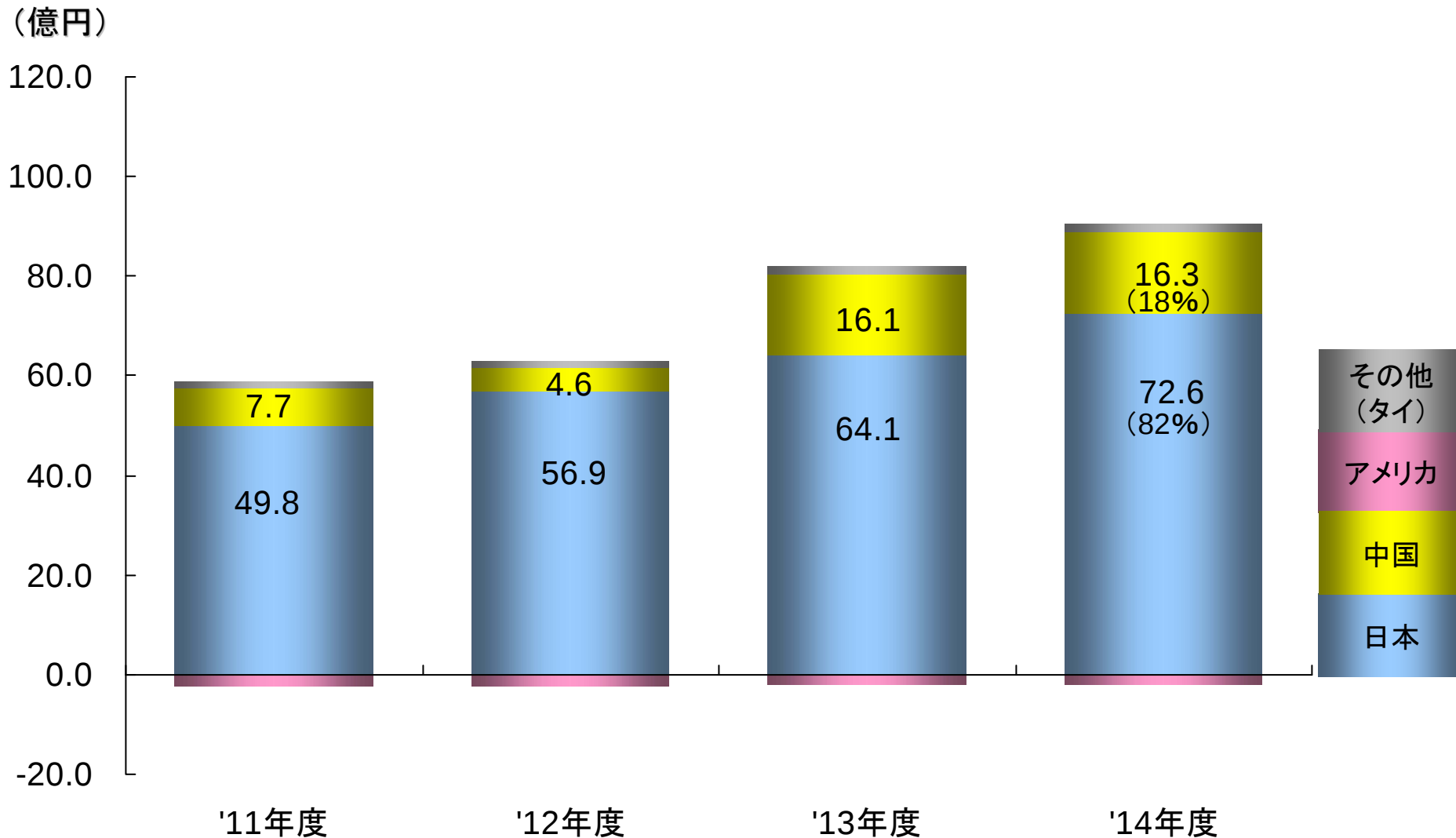
連結海外売上高の推移



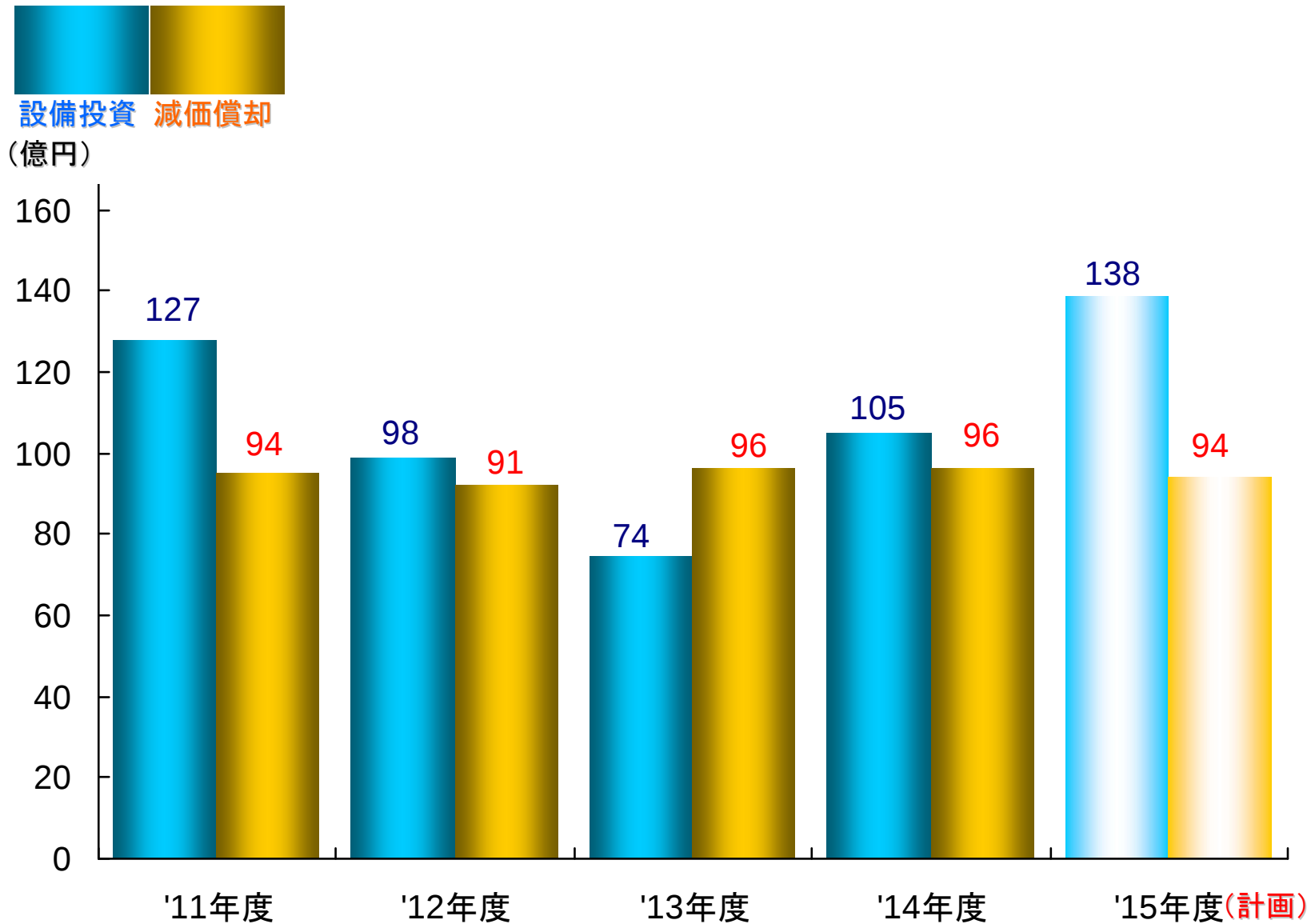
連結所在地別売上高の推移(単純合算)



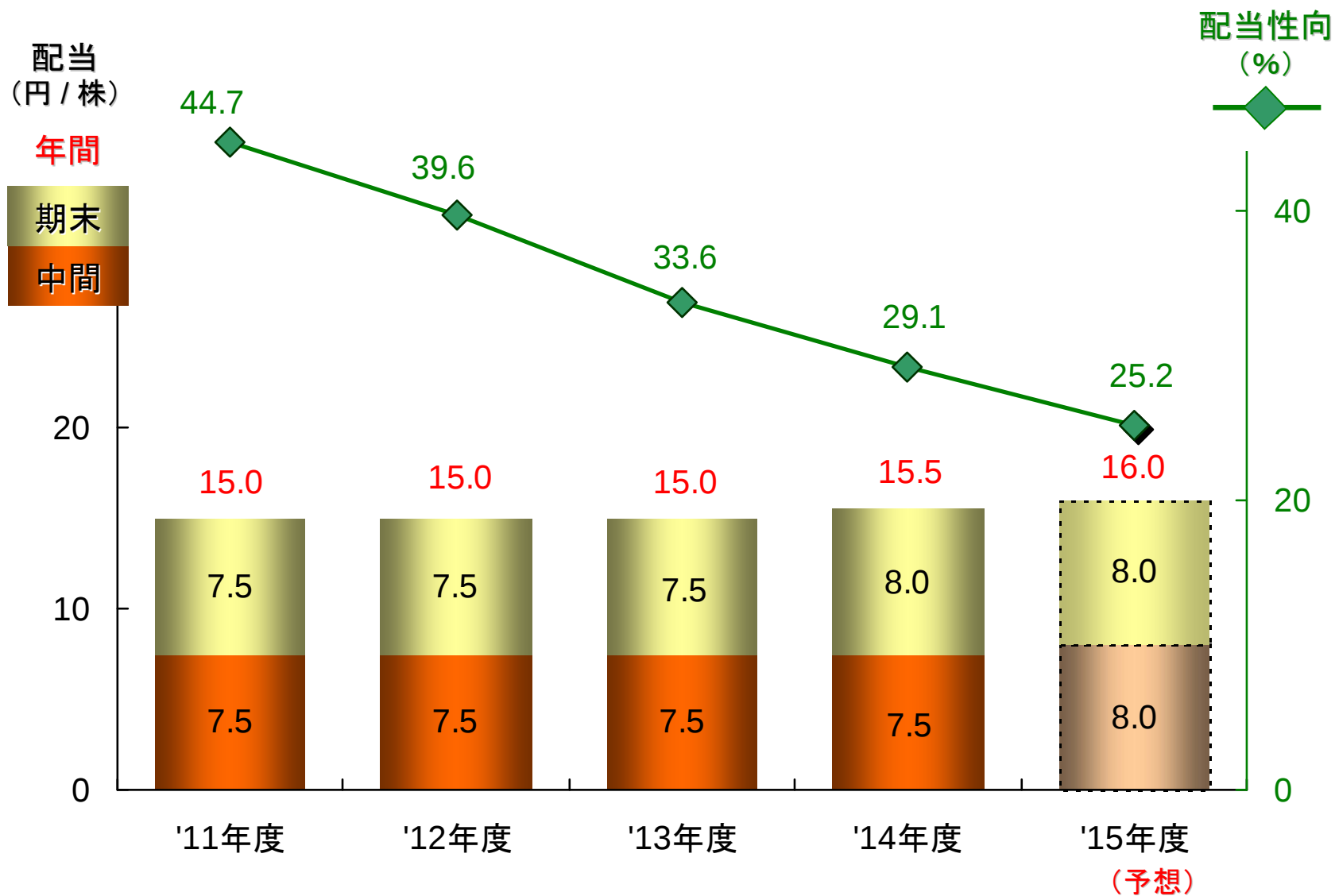
連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



設備投資と減価償却(連結)



1株当たり配当と配当性向の推移(連結)



第9次中期経営計画

Sanyo Global Innovation 200

1. 第9次中期経営計画の概要

○長期目標(ありたい姿)

顧客との協創 グローバル展開

第9次中計
終了時点の姿

収益構造の転換
持続的成長の実現

グローバル市場で成長し、
名実ともに大企業へ発展

○期間 '15年度～'18年度(4年間)

○スローガン

Sanyo Global Innovation 200

○数値目標 連結売上高2,300億円以上、
連結営業利益200億円以上、ROE10%以上

2. 第8次中期経営計画の振り返り

第8次中期経営計画('11年度～'14年度) “Challenge 2000 & 200”

- 【数値目標】 連結売上高 2,000億円以上、連結営業利益200億円以上
ROA(総資産営業利益率)12%以上
- 【行動目標】 グループ経営の推進、グローバル人材の育成 など

結果

【数値目標】

目標未達

- 外部環境変化に即応できず
震災、原燃料価格高騰、
エレクトロニクス不況など
- 戦略的開発品の開発遅れ

【行動目標】

着実に実行

- 基盤ビジネスの差別化・
高付加価値化、新規事業に
繋がる技術開発を推進
- グローバル人材の教育・
採用強化

第9次中計では、顧客密着、研究開発効率の向上を進める

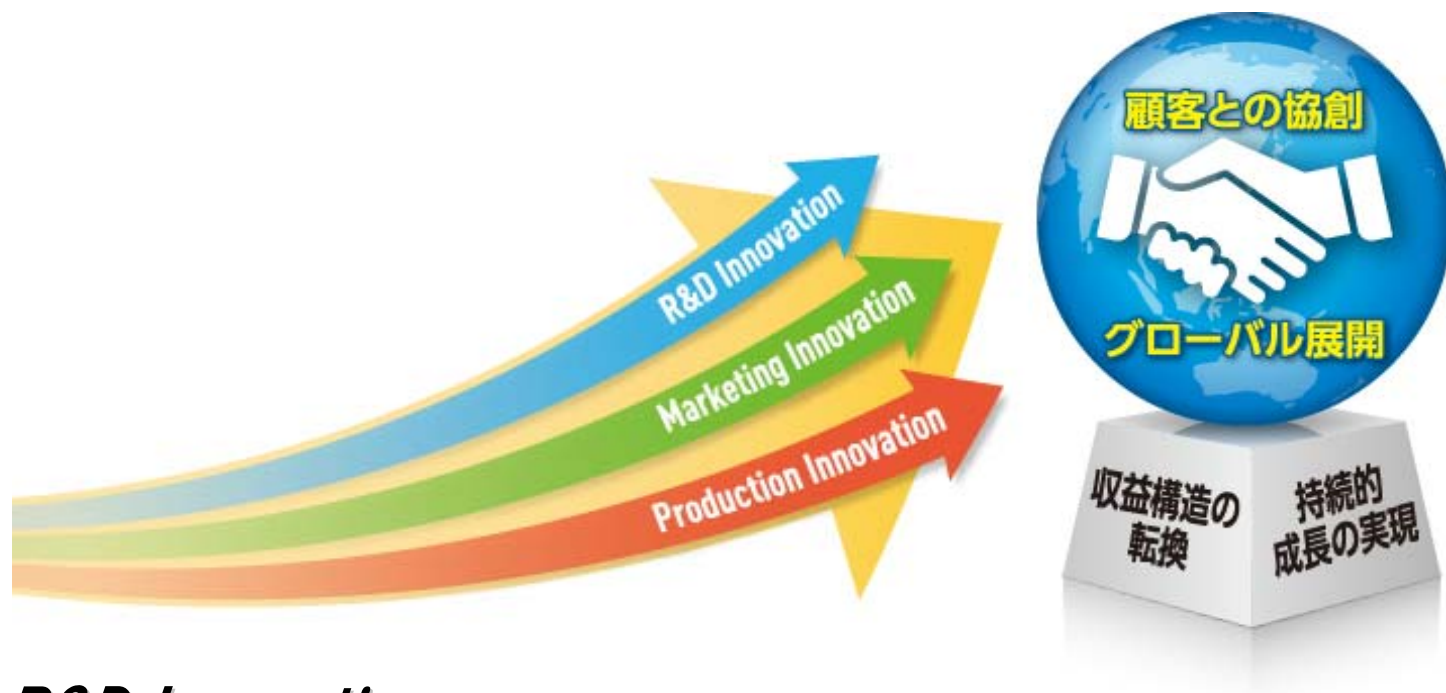
3-1. 第9次中計の概要

項目	目標値（'18年度）
連結 売上高	2,300億円以上
連結 営業利益	200億円以上
連結 ROE	10%以上

第9次中期経営計画
終了時点でのあるべき姿 達成



3-2. 3つのInnovation



R&D Innovation

研究効率向上を通じ、成長分野における**独創的な技術創製**

Marketing Innovation

当社の強みが発揮できる分野・市場での**ニーズ取り込み強化**

Production Innovation

プロセス革新を通じて生産効率と収益性を向上

3-3. 第9次中計の事業別戦略

第9次中期経営計画

Sanyo Global Innovation 200

既存事業の強化



基盤4事業 (SAP、潤滑油添加剤、画像形成材料、AOA(*1))

*1) AOA・・・アルキレンオキシドアダクツの略でPPGや界面活性剤などを含む

市場規模が大きい事業分野でプロセス革新や積極投資による拡大を目指す

高付加価値製品群

グローバル市場におけるニッチ領域で市場ニーズに合わせた開発・拡販を推進し、収益の拡大を図る

3-3-1. 事業別戦略（基盤4事業）

（１）S A P 事業

既存の日中に加え、新たにASEAN地域に生産拠点を設置し、さらなるグローバル供給体制を構築、成長市場での高シェア獲得につなげる

VISION

関係会社であるSDPグローバルの事業戦略VISION2020(*)
実現に向けた成長戦略の「加速」と「拡大」のステージ



*) VISION2020

- (1) 世界四極体制構築
- (2) ライフ&ヘルスケア領域で更なる事業拡大
- (3) 新規事業領域への挑戦
- (4) ユニークな技術の更なる革新

3-3-2. 事業別戦略（基盤4事業）

（２）潤滑油添加剤事業

日中米に加え、新たにASEAN地域に生産拠点を設置し、
市場ニーズに即応できるグローバル供給体制を構築。
成長市場での高シェア獲得につなげる

VISION

省燃費対応の高機能ポリメタクリレート系潤滑油添加剤
(粘度指数向上剤)を成長の原動力に育成

- お客さまに密着した次世代の製品開発
(燃費規制(GF-6)対応)
- お客さまの販売拡大戦略に沿ったグローバルな
製品供給体制の構築

3-3-3. 事業別戦略（基盤4事業）

（３）画像形成材料事業

お客さまとの協創による製品開発を強化し、グローバルに
拡販を進めることで、事業拡大と収益性拡大を両立する

VISION

グローバルに拡販を進め、収益性向上による成長牽引役へ

- お客さまとの協創による製品開発力強化（評価技術の向上）を図り、市場ニーズに合った開発を進める
- トナー材料用途以外の画像形成材料用途への参入

3-3-4. 事業別戦略（基盤4事業）

（４）AOA事業

プロセス革新とコスト競争力強化を推進し、グローバルに
拡販を進めることで、事業拡大と収益性拡大を両立する

VISION

プロセス革新によるPPGの収益性改善に加え、
その他の高付加価値AOA製品群のグローバル拡販を展開

- 生産プロセス革新による販売拡大と収益性向上
- アジア・北米・中南米市場をターゲットに販売を拡大
- 原料調達体制を整備し、購買力強化を図る

3-3-5. 事業別戦略（高付加価値製品群）

高付加価値製品群

グローバル市場におけるニッチ領域で市場ニーズに合わせた開発・拡販を推進し、収益の拡大を図る

具体的アイテム例

自動車内装表皮材用ウレタンビーズ

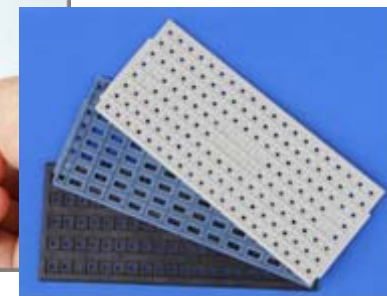
永久帯電防止剤

フラットパネルディスプレイ用樹脂

など



自動車のインパネに
（自動車内装表皮材用ウレタンビーズ）



保護フィルムやICTレーに
（永久帯電防止剤）

3-3-6. 事業別戦略（新規事業）

第9次中期経営計画

Sanyo Global Innovation 200

新規事業の立ち上げ



VISION

- 今後、市場の成長が期待される分野（エネルギー・エレクトロニクス分野、バイオ・メディカル分野）での新規事業の橋頭堡を築く
- 2020年に売上高100億円/年以上の新規事業を創製

4. 第9次中計の数値目標

計画立案にあたって(前提条件)

需要動向

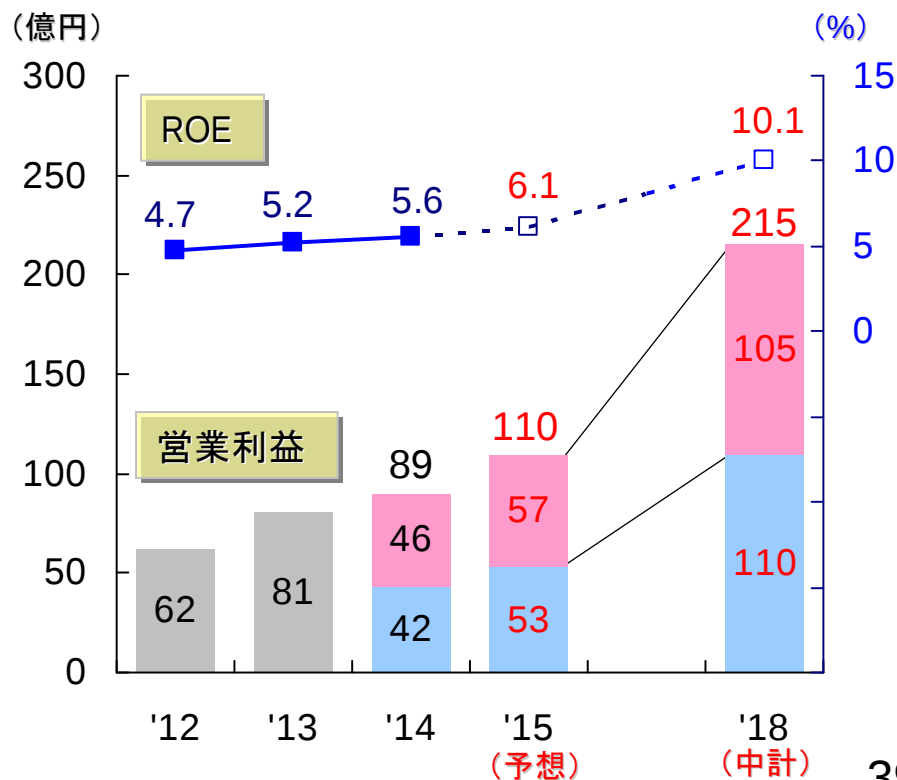
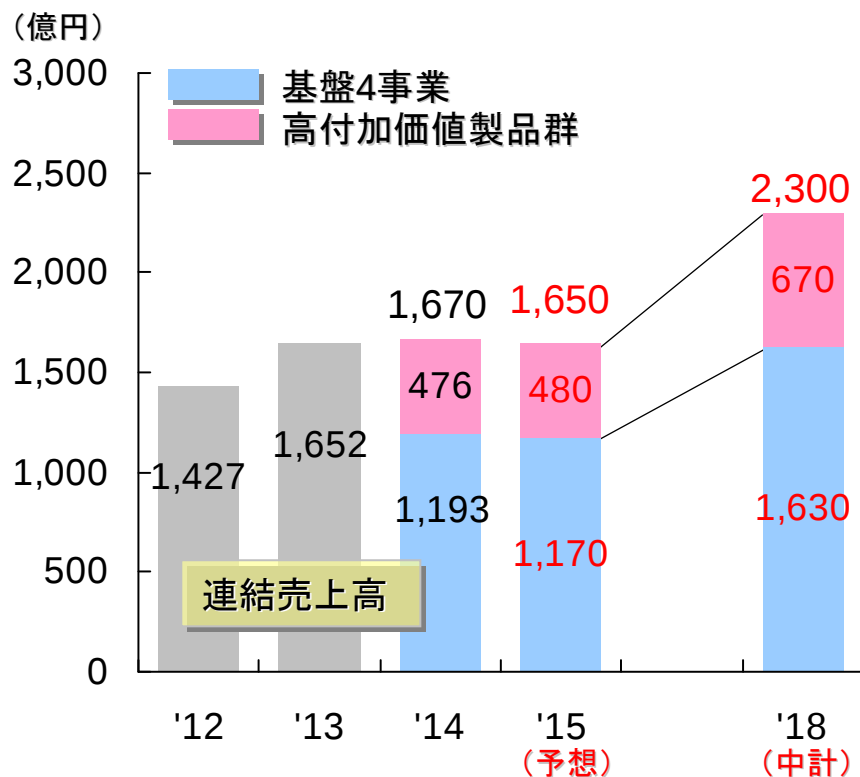
国内: GDP成長率1.0~1.5%の緩やかな成長が継続
海外: 新興国(アジア中心)でGDP成長率5~7%程度

為替レート

1\$=114円, 1元=18.6円

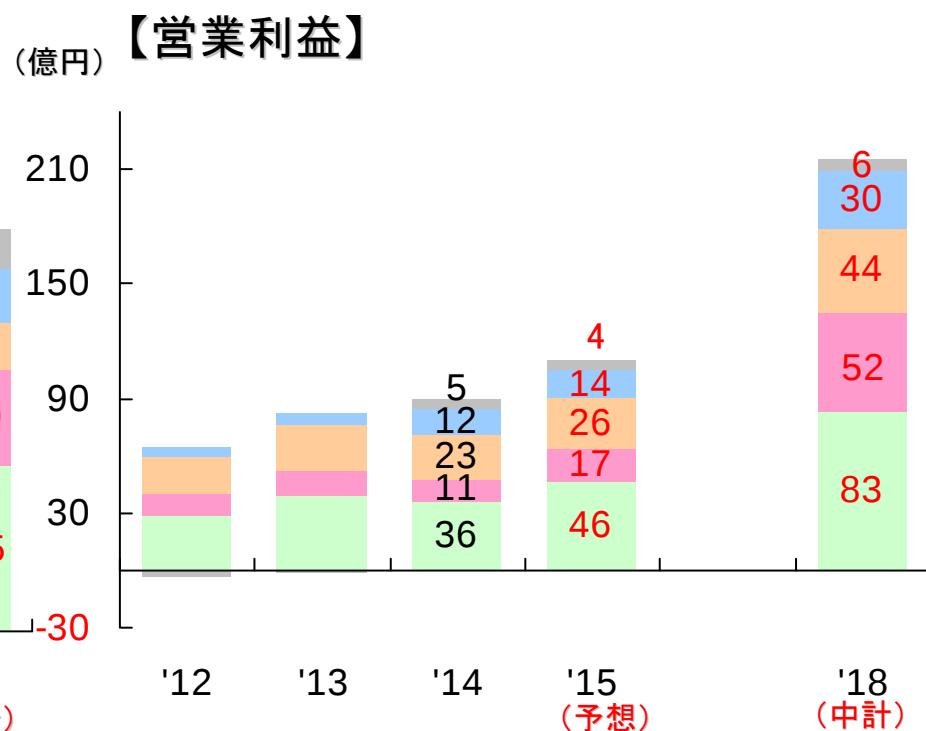
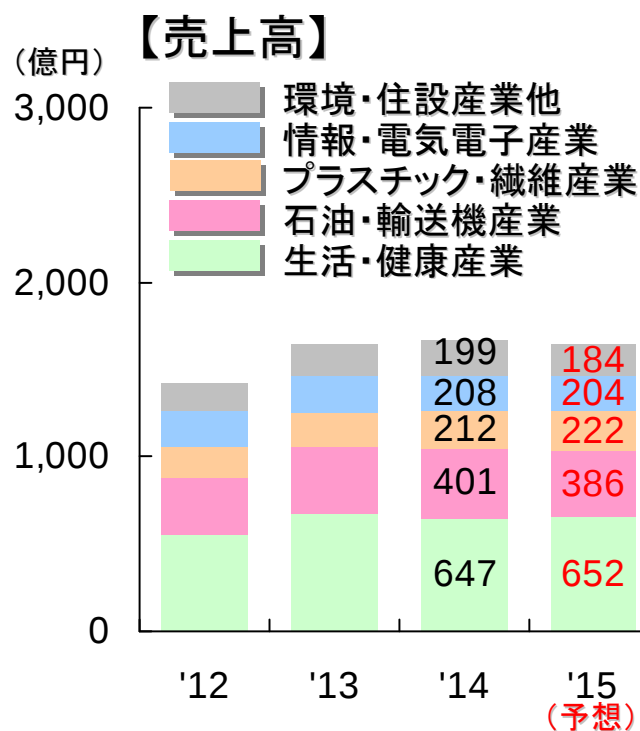
国産ナフサ価格

50,000円/kl



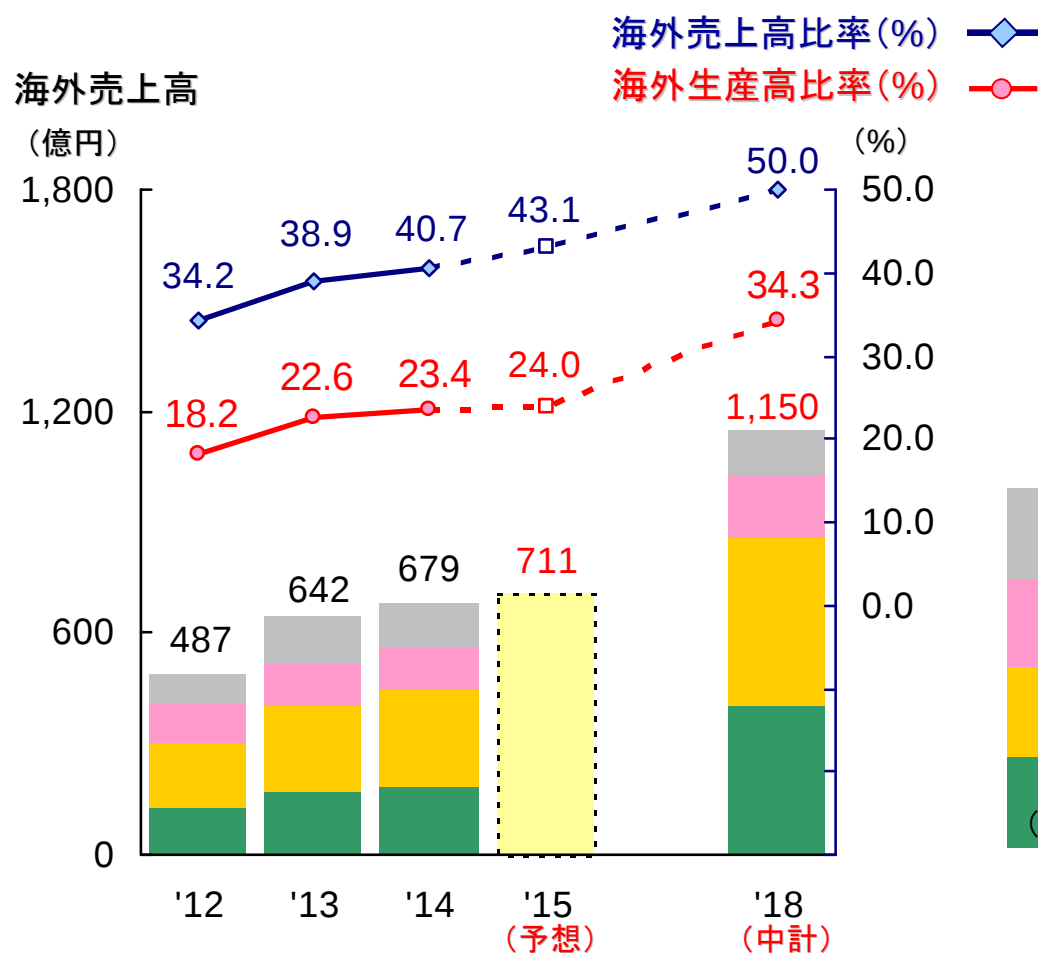
4-1. 産業分野別数値目標

	売上高(億円)		年平均伸び率 (%)	営業利益(億円)		年平均伸び率 (%)
	'14年度	'18年度		'14年度	'18年度	
生活・健康産業	647	945	10.0	36	83	23.1
石油・輸送機	401	550	8.2	11	52	46.2
プラスチック・繊維	212	275	6.7	23	44	16.9
情報・電気電子	208	310	10.6	12	30	23.9
環境・住設他	199	220	2.1	5	6	4.2
合 計	1,670	2,300	8.4	89	215	24.7

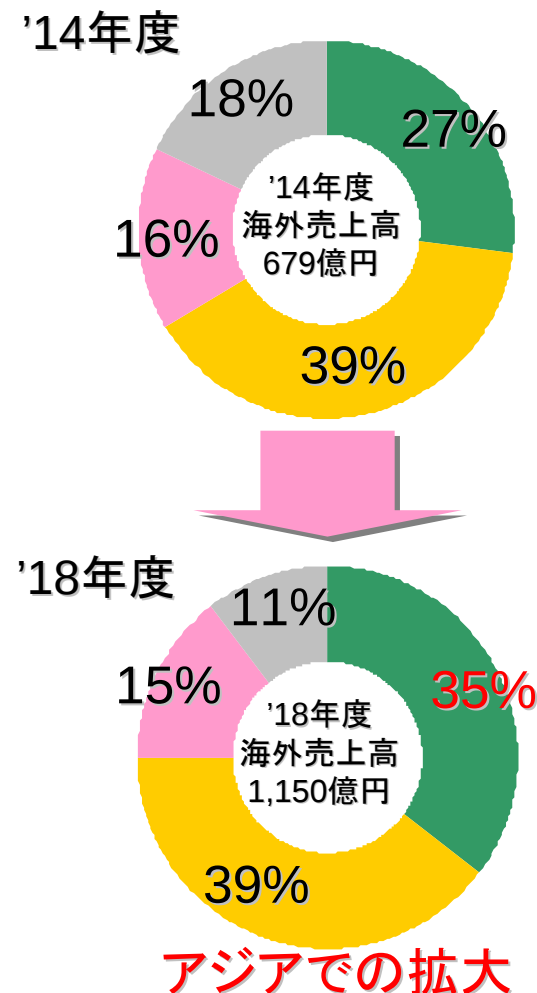


5. グローバル展開

【海外売上高および比率、海外生産高比率】



【海外売上高構成】



海外生産・販売拠点の拡充、グローバル研究体制の構築を図る

6. 連結設備投資計画

既存設備の維持に加え、基盤4事業を中心にグローバル展開へ向けた設備投資を重点的に行い、4年間で総額560億円を投資

主な設備投資アイテム

SAP事業：約130億円

ASEAN地域での新規生産拠点の設置

潤滑油添加剤事業：約45億円

中国、米国、ASEANでの新規生産拠点の設置

画像形成薬剤事業：約20億円

重合トナー中間体ポリエステルビーズ向け

原料生産設備の拡充

AOA事業：約5億円

第8次中計期間中に投資・整備してきた衣浦工場
におけるPPG新製造プロセス生産設備の拡充

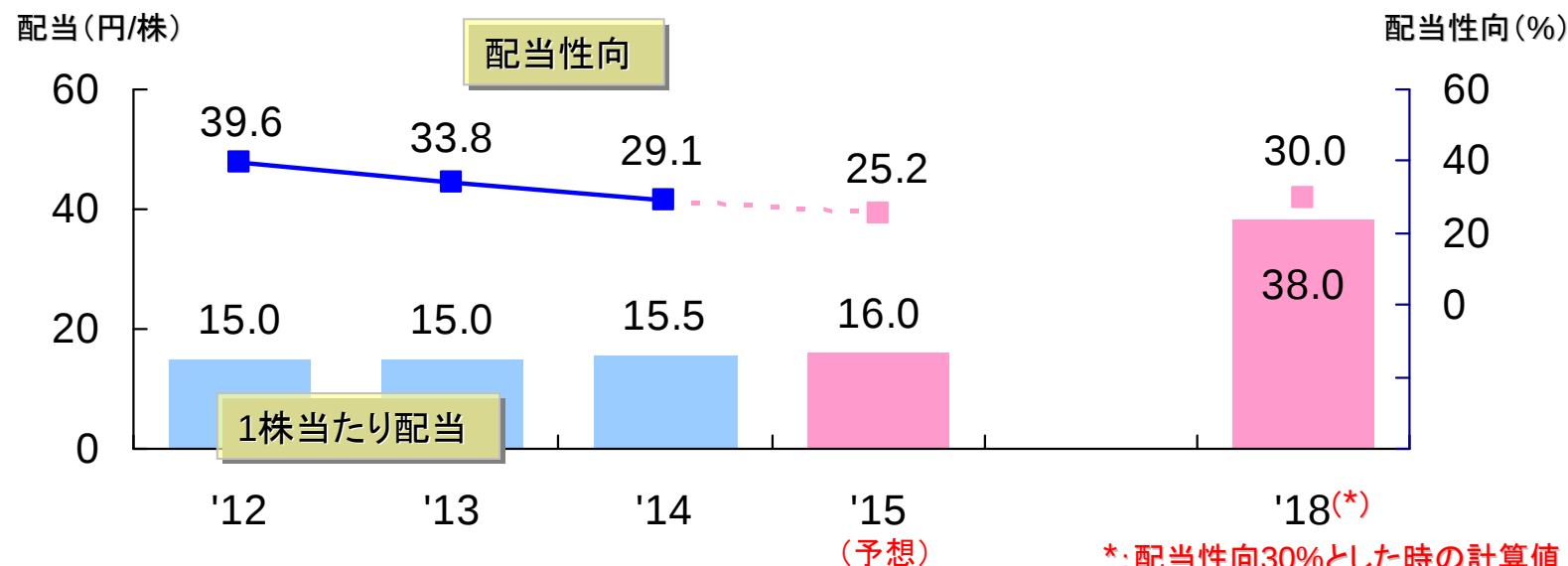
7. 研究開発費と株主還元策

【研究開発費】

毎年、連結売上高の3%以上（単体としては5%以上）、
4年間で総額約250億円を投入、既存事業の利益ある拡大と
次世代に向けた独創的技術の創製につなげる

【株主還元策】

連結配当性向30%を目処に安定配当を行う



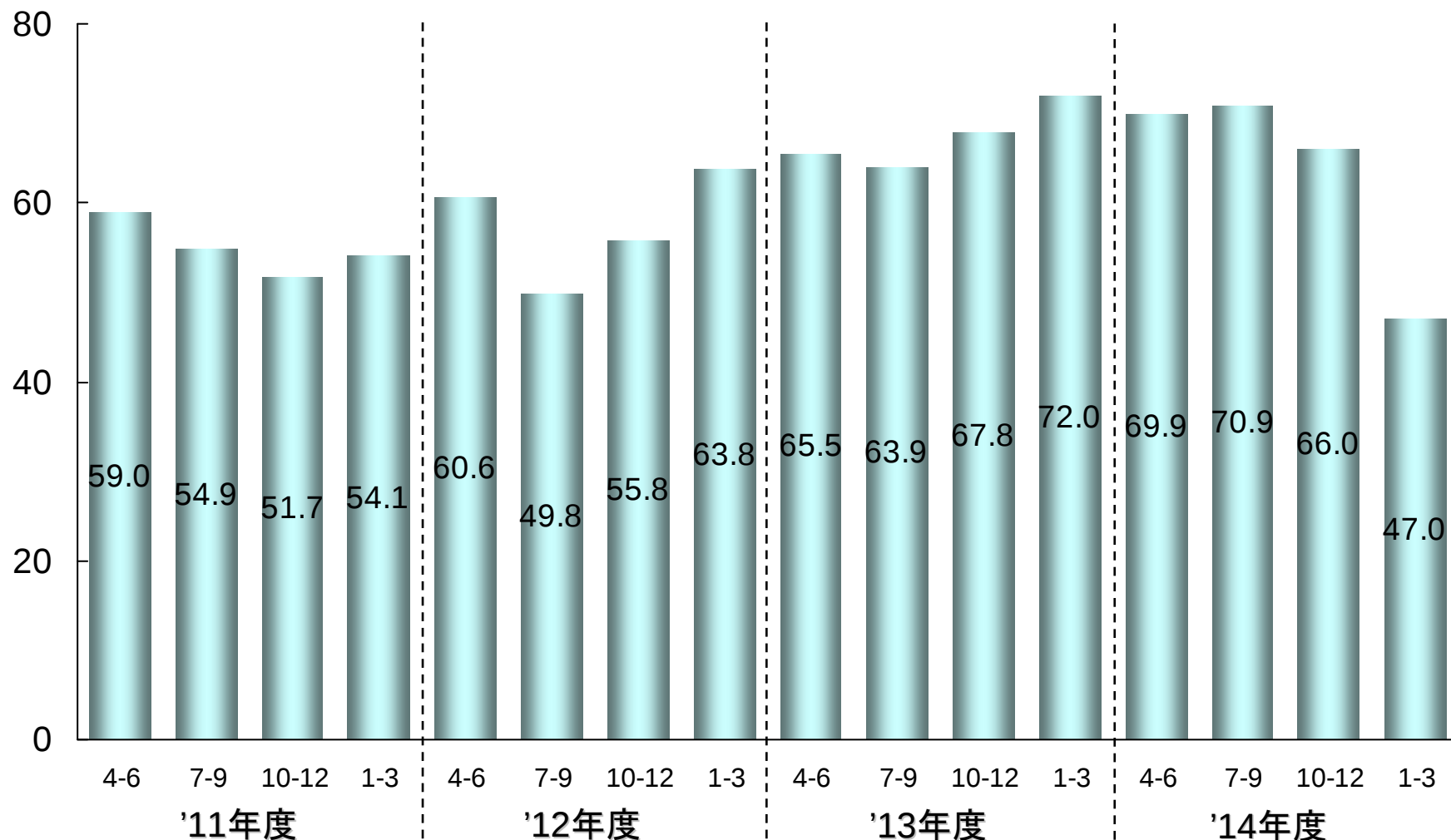
Sanyo Global Innovation 200



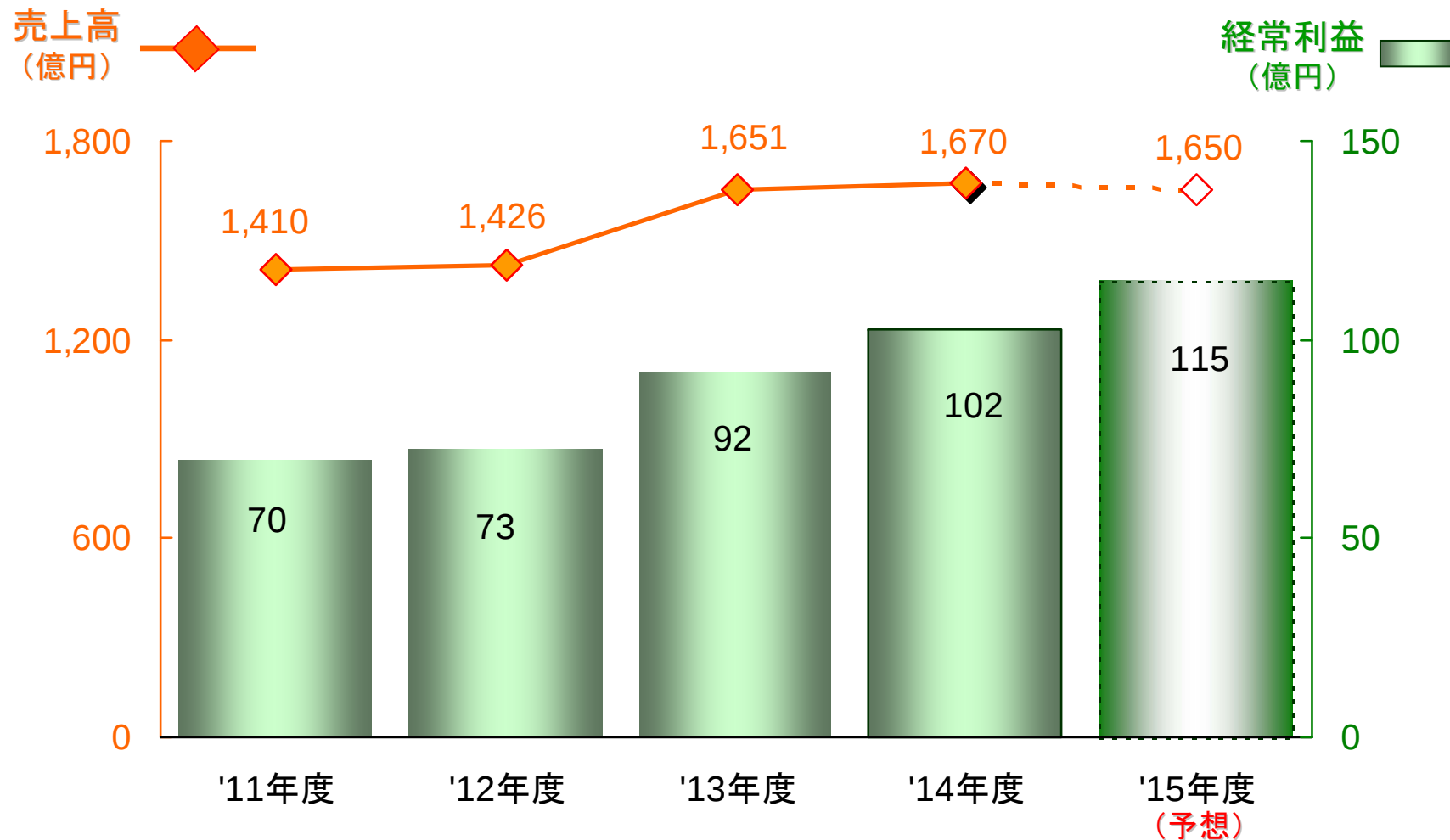
参考資料

国産ナフサ価格の推移

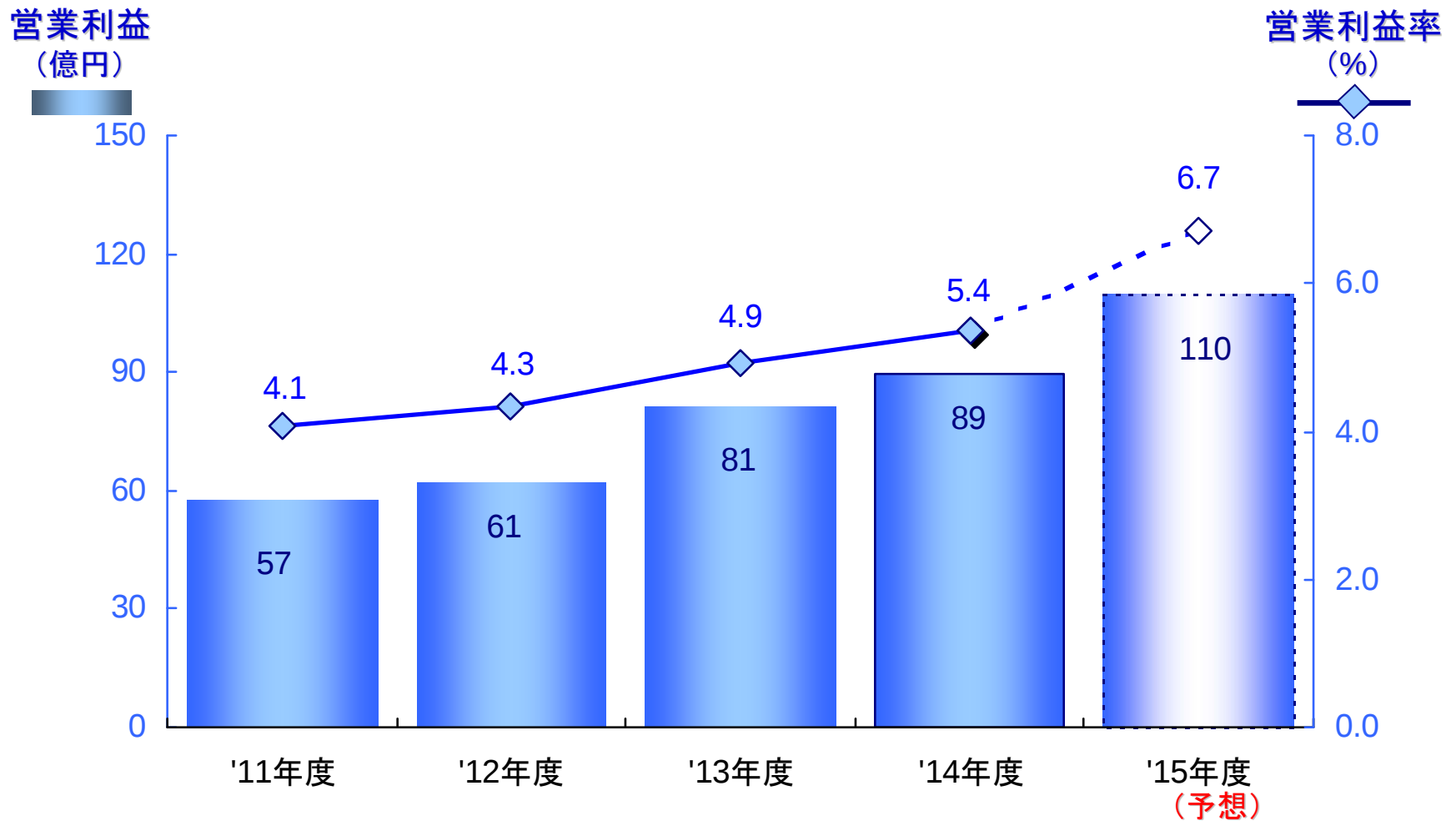
国産ナフサ価格
(千円/kl)



連結業績の推移

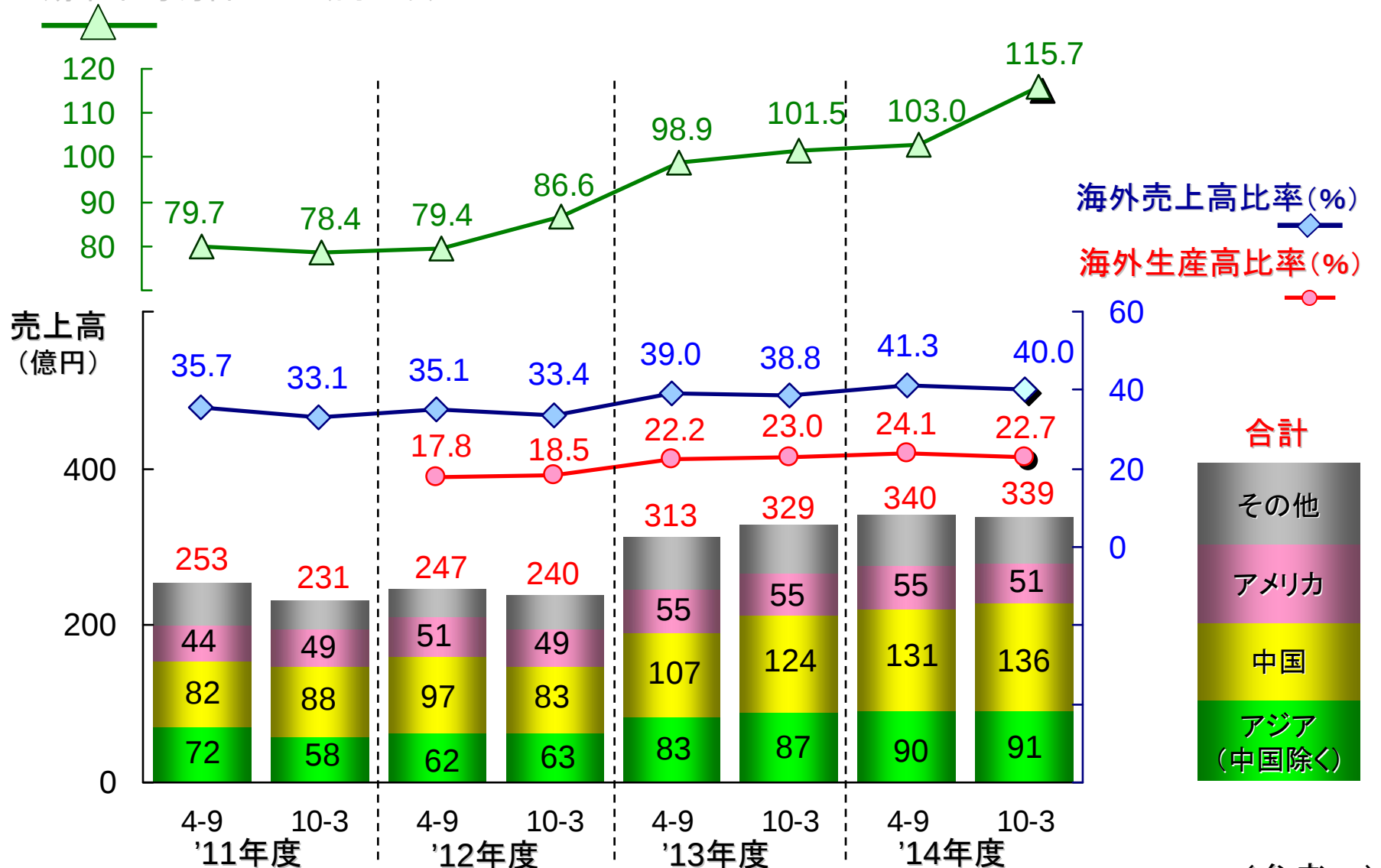


連結営業利益(同率)の推移

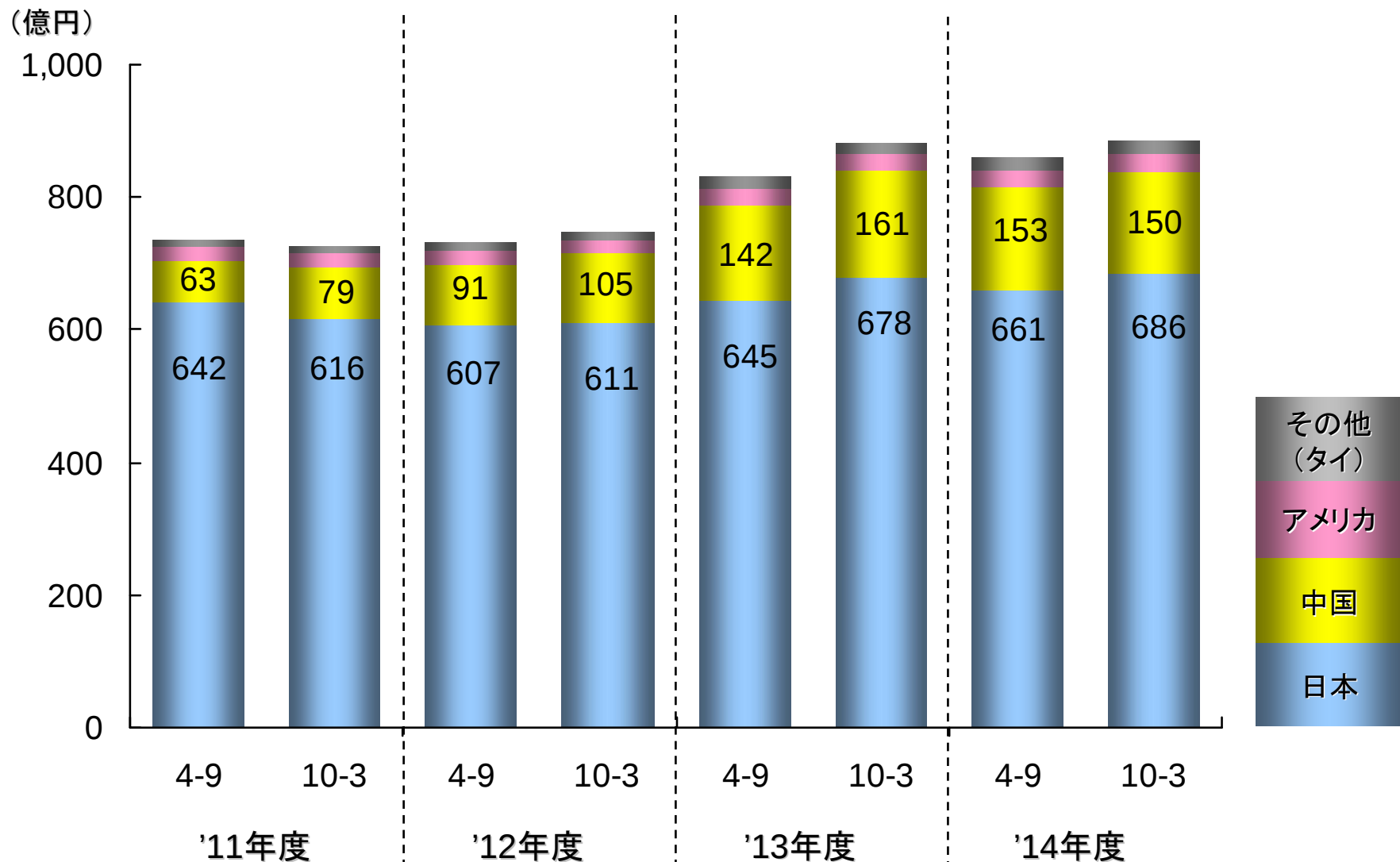


連結海外売上高の推移

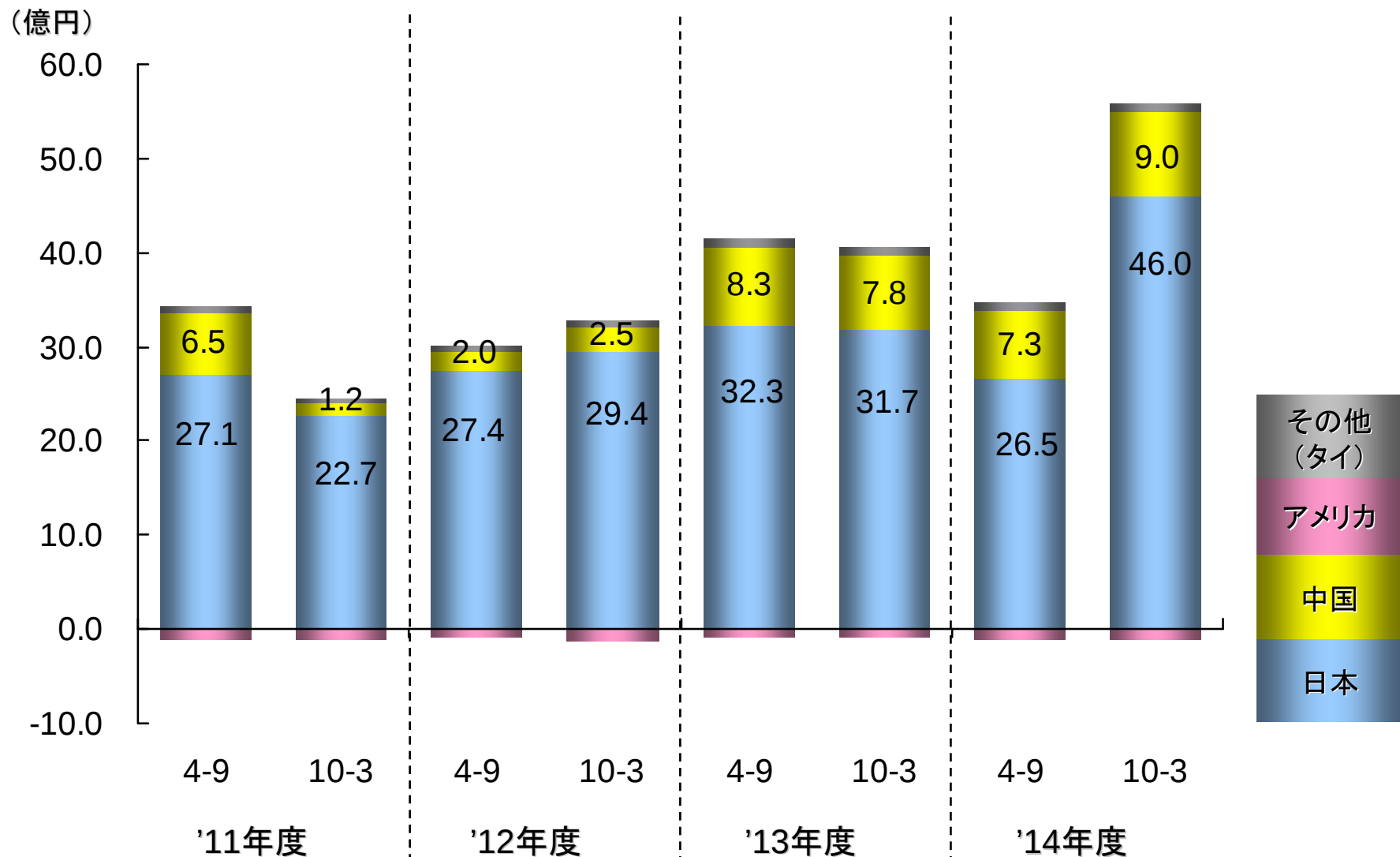
期中平均為替レート(円 / \$)



連結所在地別売上高の推移(単純合算)



連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



国内連結子会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
SDPグローバル(株)	SDP	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)	70% 30%	高吸水性樹脂の製造販売
サンノブコ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、 各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) エアー・プロダクツ	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、 ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋運輸(株)	三運	三洋化成工業(株)	100%	運送業

海外連結子会社(7社)

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成精細化学品 (南通)有限公司	中国	SKN	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品 (南通)有限公司	中国	SDN	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海)貿易 有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)ほか	89% 11%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	潤滑油添加剤等の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造

持分法適用会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	SANAM Corp. JX・ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫(株)	名三倉	三洋化成工業(株)	100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	倉庫業
(株)サンリビング	SL	三洋化成工業(株)	100%	不動産、保険代理業